

家庭学習の手引き：6年生

主体的に学ぶ力を身につけよう



家庭学習では、自分から学習していく姿勢・習慣を身に付けていきます。テストに向けて自分の力を確かめたり、授業の内容を発展させたりする「自主学習」や、自分に必要な前学年の復習をしたり、基礎基本を定着させたりするための「繰り返し学習」に取り組みます。

6年生では・・・

インターネットやスマホ・ゲーム・テレビ等のメディアに対する依存度が高くなる傾向があります。生活リズムの乱れは、学習意欲にも影響を及ぼします。計画的に学習を進めるためにも、生活習慣を見直すことが大切です。

また、自分自身で判断し行動することが増え、時には大人への反抗も見られるようになります。学習に対する意欲や興味・関心を高めるために、周囲の大人の言葉かけには配慮が必要になります。

学習の特徴

- ◇高学年は、家庭科や外国語等教科が多く、各教科の学習内容も多くなります。前学年までの既習の内容を復習する時間も必要となります。
- ◇各教科では、自ら目標を定め、達成に向けて自分に必要な学習を判断し、主体的に学ぶ力を育てていきます。
- ◇筋道を立てて考える力や、広い視野で物事を見る力が必要になります。
- ◇タブレット端末を用いて調べ学習を進めたり、自分の考えを説明する際の資料を作ったりします。タブレット端末の基本的な操作ができ、自分の学習に応じて活用する力を育てていきます。
- ◇友だちと自分の考えを伝え合うことで、正解を見つけるだけでなく、多様な解き方や考え方を理解し、その良さを見出すなど、自らのものの見方や考え方を広げていきます。

家庭学習を始める前に

- ◇勉強する場所を決めましょう。
- ◇勉強をする場の整理整頓をしましょう。(タブレット端末や地図帳や辞典等をそばに置く)
- ◇テレビや動画等を消して、静かな環境を作りましょう。

家庭学習の内容

自分に必要な教科・内容・量を,自分で考えて決め,学習する。

例えば…

- ★小数や分数等の計算は,前学年までの既習事項の定着が必要なので,自分で理解が十分できていないと思う内容を,前学年の教科書やドリルを使って復習する。
- ★既習の漢字や言葉を用いて,文や文章(意見文等)を書いて定着を図る。
- ★授業で取り組んだ課題に対し,自分の考えをもう一度まとめたり,自分とは違う考えの友達の意見をまとめたりする等,復習する。
- ★テストに備えて,テスト範囲の復習をする。
- ★次の授業で学習する内容を,教科書をもとに確認し,自分の考えをまとめる等,予習する。
- ★授業で学習した内容に関連することを,インターネットや新聞,図書資料等で調べ,深める。
- ★授業で取り組んだ課題を発展させたり,身の回りに活用したりする。

